



(電子版)

info@jikosoren.jp

2018年 第17号 2018年10月23日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201
tel. 03-3875-8071 fax. 03-3874-4997

白タク合法化阻止、組織の強化拡大で要求実現

自交総連第41回定期大会

18年度運動方針を確立

自交総連は10月16、17日の両日、東京・全労連会館で第41回定期大会をひらき、16地方117人が参加、「白タク合法化阻止、組織の強化拡大で要求実現」をスローガンとする2018年度運動方針を確立しました。

高城委員長はあいさつで、ソフトバンクなどがあらゆる方面からライドシェアを解禁しようとしている動きを批判、自治体要請や他団体との協力などで白タク合法化阻止のため奮闘しようと呼びかけました。労働条件の改悪反対のたたかい、組織拡大に全力をあげようと訴えました。

全労連・小田川議長、日本共産党・山添拓参院議員、交運共闘・安藤副議長、顧問弁護団・小賀坂弁護士が来賓あいさつしました。

大会では12地方17人が発言、きびしい労働実態や、この1年で新加盟した組合による抱負が語られました（詳細は自交労働者新聞に掲載します）。

2018年度運動方針、会計報告・予算を全員一致で採択しました。



第41回定期大会=2018. 10. 16-17

第41回定期大会参加者数					
	定数	出席	委任	計	(率)
役員	16	16		16	100%
中央委員	30	25	4	29	96.7%
代議員	72	42	24	66	91.7%
合計	118	83	28	111	94.1%
傍聴者		21 (会計監査1含む)			
来賓		5			
総務・報道		8 (総務2、報道6)			
総計		117			

退任役員を紹介

大会では、別記の新役員を選出、早川副中央執行委員長、川崎常任中央執行委員、二階堂常任中央執行委員が退任し、壇上でそれぞれあいさつを述べました。

